

## 《週報》

第 11 卷第 30 号

第 30 週( 7月25日 ~ 7月31日 )

発行年月日: 平成23年(2011年) 8月 4日  
発 行 : 滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター  
電話: 077-537-7438 FAX: 077-537-5548

## 今週の感染症発生動向

**腸管出血性大腸菌感染症多発警報を発令(本年度7回目)  
手足口病およびヘルパンギーナの警報、発令中  
咽頭結膜熱(ブルー熱)の警報は解除**

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第30週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 8名**
- ・三類感染症---**腸管出血性大腸菌感染症 16名** (患者 12名、無症状病原体保有者 4名)  
(血清型・毒素型: O157・VT1VT2 12名、O157・VT1 1名  
O26・VT1 2名、O121・VT2 1名)
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**後天性免疫不全症候群 1名** (病型: AIDS)

腸管出血性大腸菌感染症が、1週間に3名以上発生したため(第31週、8月2日現在で6名発生)、県は「滋賀県腸管出血性大腸菌感染症多発警報発令要領」(平成20年8月18日施行)に基づき、8月2日(火)に本年度第7回目の警報(発令基準に該当)を発令しました。発令期間は、平成23年8月2日(火)から平成23年8月14日(日)までです。  
なお、腸管出血性大腸菌感染症の発生状況については、今週の発生状況に示すとあります。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(949名)より減少し、今週は898名となっています。今週増加した疾患は伝染性紅斑(リンゴ病)、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、手足口病等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

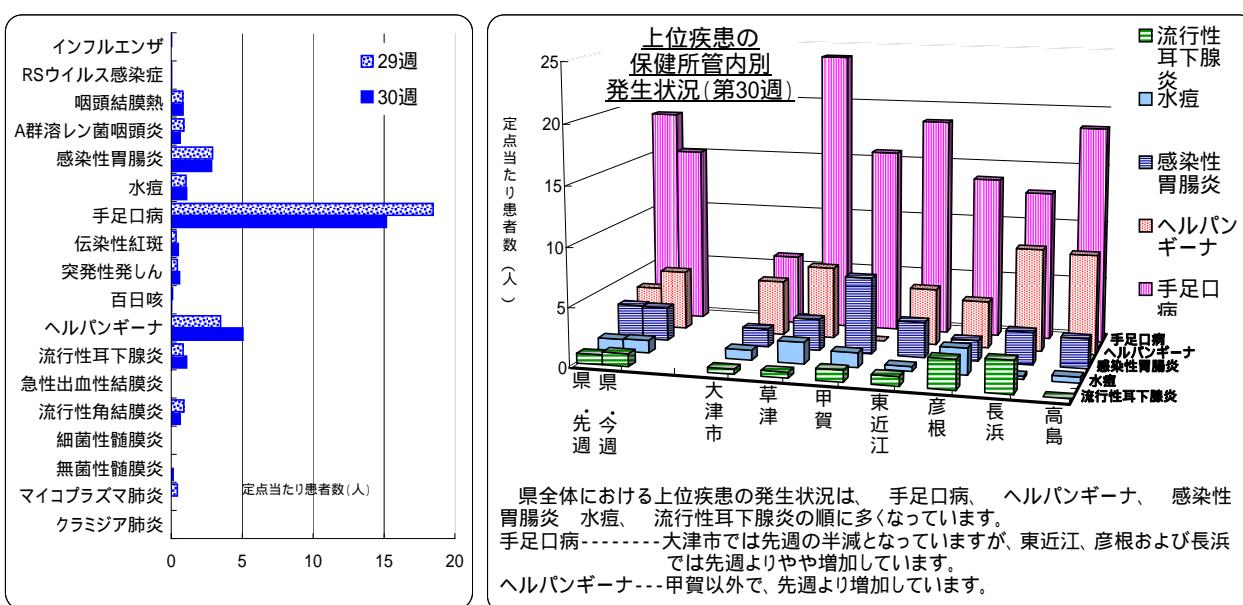
また、咽頭結膜熱では第24週(6/13 ~ 6/19)以降、県内全域に警報が発令されていましたが、第30週(7/25 ~ 7/31)に、警報の解除基準\*に該当したため解除されました。

\* 警報終息基準値未満(定点あたり患者数1.00)になったすべての保健所管内人口の合計が、滋賀県人口の30%未満になった場合

さらに、手足口病では第26週(6/27 ~ 7/3)以降、ヘルパンギーナでは第28週(7/11 ~ 7/17)以降も、引き続き県内全域に警報が発令されています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとあります。

警 報	----咽頭結膜熱	(警報開始基準値 3.00、警報終息基準値 1.00)	東近江保健所管内
	手足口病	(警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00)	すべての保健所管内
	ヘルパンギーナ	(警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00)	大津市、草津、長浜および高島保健所管内



## 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出することになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年累積報告数		平成22年累積報告数 <sup>(*)1</sup>		平成21年累積報告数 <sup>(*)2</sup>	
		滋賀 (30週)	全国 <sup>(*)3</sup> (29週注)	滋賀	全国 <sup>(*)3</sup>	滋賀	全国 <sup>(*)3</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	186	16,270	251	26,704	256	26,996
三類感染症	コレラ	0	2	0	10**	1	16
	細菌性赤痢	2	108	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	36	1,518	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	15	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	36	0	66	1	56
	A型肝炎	0	136	3	346	0	115
	オウム病	0	10	1	11	0	21
	つつが虫病	0	156	2	406	0	465
	デング熱	1	48	2	245	0	93
	マラリア	0	34	0	76	0	56
	レジオネラ症	8	377	10	751	8	717
五類感染症	アメーバ赤痢	2	427	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	147	3	222	3	223
	急性脳炎	1	179	0**	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	66	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	133	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	3	777	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	38	1	80	0	70
	梅毒	3	411	9	621	3	691
	破傷風	1	61	0	106	3	113
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	30	2	121	0	116
	風しん	2	262	5	89	2	147
	麻しん	2	369	1	455	7	732
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) <sup>(*)4</sup>	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	13	0	59	0	34

\*\* : 平成22年分の最終確認の結果、急性脳炎(滋賀)10、コレラ(全国)11～10に訂正しました。

注: 30週の全国累積報告数については、次回の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

\* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

\* 2: 感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

\* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間: 平成21年7月24日～8月24日)。

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成23年第25週～30週、6/20～7/31)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少 )										
			25週	26週	27週	28週	29週	30週	週				
			6/20～	6/27～	7/4～	7/11～	7/18～	7/25～	26	27	28	29	30
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.13	0.19	0.06	0.04	0.02	0					
小児科	32	RSウイルス感染症	0.03	0	0.09	0.09	0.03	0.03					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	2.97	2.38	2.19	1.50	0.81	0.84					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.44	1.34	1.28	1.22	0.88	0.63					
		感染性胃腸炎	4.97	3.06	2.59	3.56	2.91	2.84					
		水痘	2.25	2.47	1.09	1.47	1.03	1.09					
		手足口病	3.91	7.66	13.75	20.34	18.47	15.16					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.94	0.38	0.44	0.38	0.34	0.50					
		突発性発しん	0.53	0.47	0.94	0.63	0.44	0.59					
		百日咳	0	0	0	0.03	0.09	0.03					
眼科	8	ヘルパンギーナ	0.75	1.53	4.03	5.91	3.47	5.06					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.41	0.88	1.31	1.44	0.84	1.09					
基幹	7	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0.25	1.25	0.63	0.63	0.88	0.63					
		細菌性髄膜炎	0	0.14	0.14	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0.14					
		マイコプラズマ肺炎	1.00	0.57	0.29	0.29	0.43	0					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

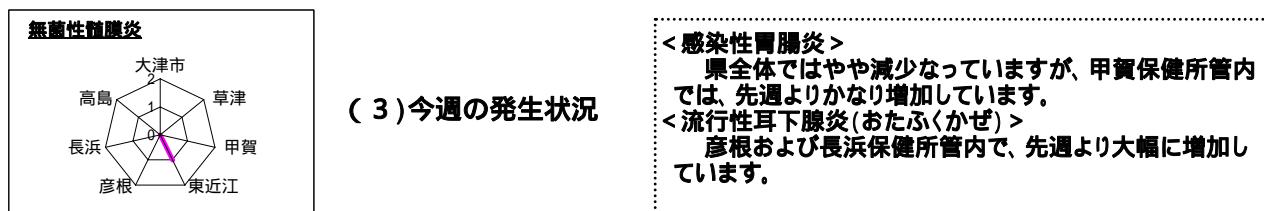
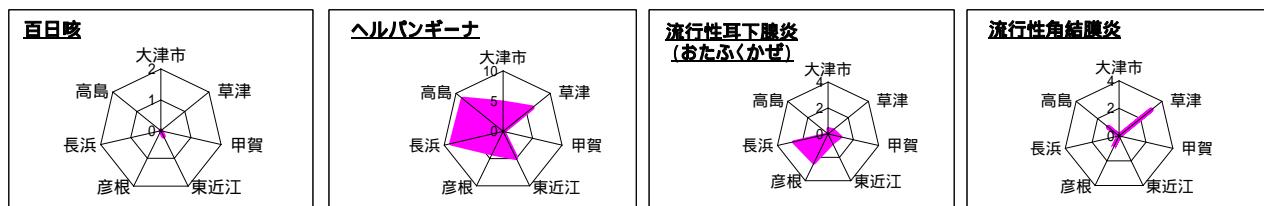
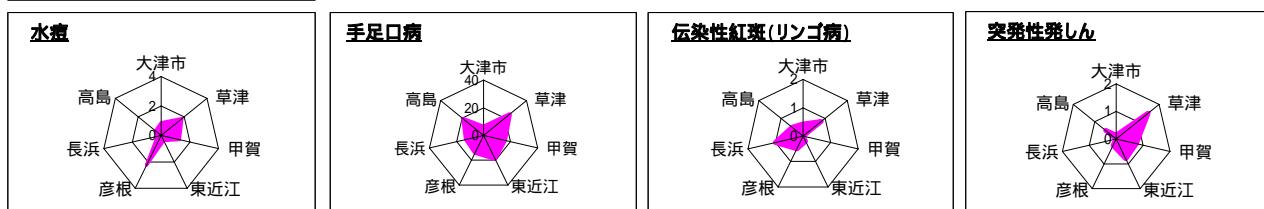
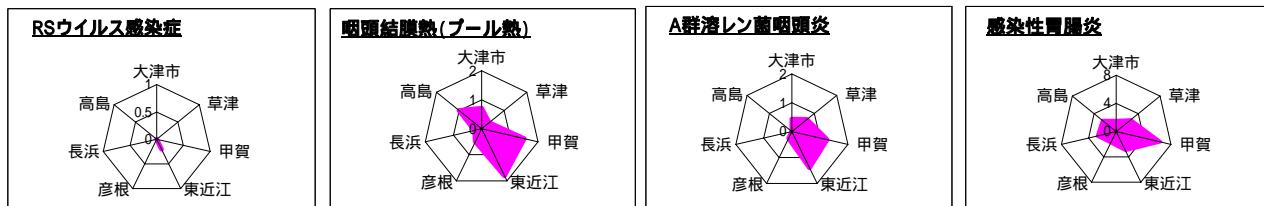
(2) 病別・保健所管内別発生状況(第30週、7/25~7/31)

**赤・太字** は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

は警報発生基準値(開始基準値または  
は注意報発生基準値を超えています。



## 疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



### (3) 今調の発生状況

## 〈感染性胃腸炎〉

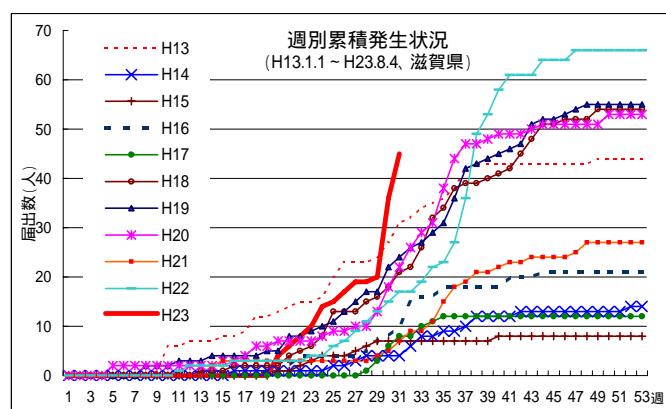
県全体ではやや減少なっていますが、甲賀保健所管内では、先週よりかなり増加しています。

#### **<流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)>**

彦根および長浜保健所管内で、先週より大幅に増加しています。

## 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

トップページに戻る



平成23年8月4日現在における届出数は45名で、男性24名、女性21名です。診断の類型は患者30名、無症状病原体保有者15名です。

#### 血清型・毒素型は

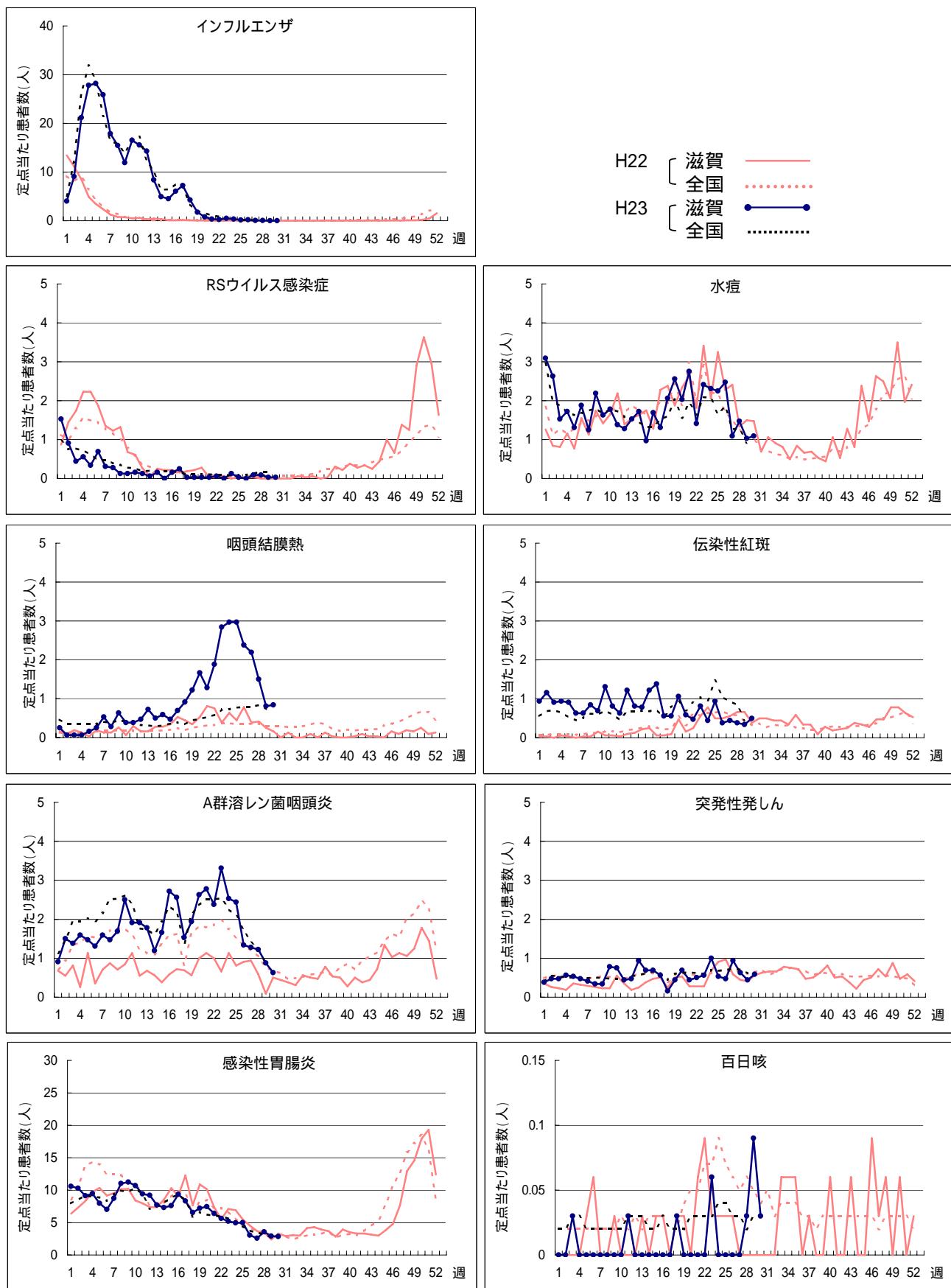
血清型 等身量は  
 O157・VT1 & VT2 30名 O157・VT1 2名  
 O157・VT2 3名 O26・VT1 8名  
 O6・VT2 1名 O121・VT2 1名です

年齢は

0～9歳 8名、10～19歳 7名、20～29歳 12名  
0～39歳 9名、40～49歳 3名、50～59歳 2名  
0～69歳 2名、70歳以上 2名です。

届出保健所管内別は  
大津市 13名、草津 17名、東近江 8名、彦根 4名、  
長浜 3名です。

## 疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～30週、H23.1.3～H23.7.31)



[トップページに戻る](#)

## 疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～30週、H23.1.3～H23.7.31)

